

日本記者クラブ講演 (2012.06.11)

1. チャイナ・ナイン：中国共産党中央委員会政治局常務委員会委員(9人)、集団指導体制
中国共産党・(第18回)全国代表大会＝第18回党大会 組織図⇒図1 & 図2
2. 現政権「チャイナ・ナイン」の党内序列と定年(七上八下)(表1)
3. 次期政権「チャイナ・ナイン」は原則的に政治局委員(16名)から選ぶ
 - 年齢的に残されるのは「王岐山、劉雲山、(劉延東)、李源潮、汪洋、張高麗、張徳江、(俞正声)、薄熙来」だった。()は年齢微妙。薄熙来は失脚。(表2)
 - 張徳江(国務院副総理)が重慶書記を兼任(暫定的か否か不明)
 - 10年後の国家主席・国務院総理候補等の飛び級組を入れる可能性(胡春華、孫政才)
 - 「チャイナ・ナイン」の「ナイン」を継続するか否かの選択
 - 「一習両李」体制という呼び名も
4. 薄熙来事件の核心——なぜ失脚したのか
薄熙来にとって「唱紅」「打黒」は手段&隠れ蓑
 - (1) 第二の文革による中国共産党体制の崩壊を回避⇒権力闘争ではない！
 - ① 文革総括で禁止した「個人崇拜」⇒薄熙来+毛沢東＝薄沢東(第二の毛沢東)
 - ② 文革総括で禁止した「民衆運動の政治利用」⇒「唱紅」⇒全国に広げようとした(2012年3月14における記者会見での温家宝のスピーチが証明。第二の文革)
 - ③ 激しい自由競争と経済発展⇒貧富の格差。負け組に目をつけ政治運動化(唱紅)。
 - (2) 党紀律の違反
 - ① 法治制度を無視、司法の私物化(中国は共産党統治下で法治国家を目指している)
「打黒」⇒冤罪で民間企業から没収した金額約1000億元(約1兆3000億円)。
 - ② 公安・武装警察・軍隊の私物化・買収。(新聞・情報の私物化・買収も)
 - ③ 不正蓄財(4800億円?)⇒裸官！(マネーローンダリング、ニール・ヘイウッド)
 - ④ 夫人の二重国籍問題(薄谷開来！)(ニール・ヘイウッド殺害日は谷の誕生日)
 - (3) 王立軍(元重慶市公安局長)の成都アメリカ領事館逃亡に対する責任
 - (4) 王立軍事件と薄谷開来事件は、毛沢東万歳派説得に大きく貢献！
 - (5) チャイナ・ナインが結束——派閥闘争ではない！
 - 現政権トップと次期政権トップが固く握手！ 党内派閥闘争ではない！
(周永康問題は派閥闘争とは異なる。政法問題。)
 - 太子党への打撃といった一部の日本メディアの報道は大きな間違い！
(派閥闘争ゆえ胡錦濤政権弱いのでチャンス説⇒日本の国策を誤らせる！
胡錦濤政権は過去10年間の中で最強。軍をも完全掌握。)
5. 薄熙来と谷開来
 - (1) 知り合ったのは北京大学在学時代(1978-9年)、薄熙来には妻子が。不倫愛。
北京市書記だった李景峰の娘・李丹宇(息子・薄望知)。離婚に同意せず(軍婚)。

- 薄熙来の父親・薄一波が強引に離婚させ、李丹宇を避けるため遼寧省に行かせる。
- 1984～1988年：遼寧省金県副書記（85年から大連経済技術開発区書記兼任）
- 1988～1999年：大連市副書記→市長（89年天安門事件で薄一波働く。息子に天下）
- 1999～2004年：遼寧省党委常務委員→副書記→省長、大連市書記（～2000年）
- 大連では先ず暴力団に接近（土地関係）。文革時代（聯動）の牢獄で学んだ。
- (2) 大連・遼寧省時代の薄熙来:土地開発業者と癒着、汚職賄賂、公安・司法の私物化。
谷開来:法律事務所でコンサルタント。大金を蓄財。
- (3) 息子の薄瓜瓜のイギリス留学&マネーローンダリング：ニール・ヘイウッド雇用。
6. 現政権はいつから薄熙来の危険性を知っていたか——胡錦濤が国家主席になる前から
- 2000年：元大連市共青団書記・劉曉濱が薄熙来の腹心の部下に不当拘束。
- 共青団中央書記：胡錦濤（1982～85年）、李克強（1985～98年）
- 2004年：李克強、遼寧省の書記に（～2007年）。このときに、薄熙来に関する秘密資料をすべて入手。薄熙来の危険性を掌握！
- 2007年：薄一波他界。李克強「チャイナ・ナイン」入り。陰の調査本格化。
- 2011年6月（1000人歌舞団北京公演）から「チャイナ・ナイン」意思統一。
- 2012年2月6日の王立軍事件は「チャイナ・ナイン」に幸い。解任次期が早まった。
- すぐに実行しなかった理由：毛沢東万歳派（烏有之郷等）、赤いノスタルジーの存在。
 - 王立軍:飛行機で北京に行けばすぐに発覚。変装して別の車で成都アメリカ領事館へ。
7. 習近平は李克強の言動に感動⇒次期政権における危険要素を回避できた。
- 貧富の格差を是正する「和諧社会」へと強調する可能性(陰の立役者:李克強！)。
8. 陳光誠事件:中米利害の折衷（アメリカ：選挙、王立軍事件。中国：国際批判避けたい。）
- 周永康：政法（公安・司法・検察等）系列の改善を迫られる。年間暴動件数：500件？
 - 国防費(6703億元)を上回る治安維持費(7018億元)は誰の懐へ？ 陳光誠経済圏。
 - 河北省落選？⇒新疆ウイグル自治区当選は何を意味するのか(図2)。陳光誠渡米の日。
 - 党大会代表当選発表順番：胡錦濤、周永康、習近平、温家宝、李克強……
 - 陳光誠救助は China Aid。中国国内キリスト教徒：1億3千万。家庭教会の存在。
 - 雲南省老党员が胡錦濤に公開状：毛沢東が約束した「民主・平等・公平」の社会はどこに？ 天安門事件・法輪功鎮圧。薄熙来の背後にある周永康と劉雲山に処罰を！
 - 第18回党大会では必ず政法を中心とした「政治体制改革」。その前に薄熙来の処分。
9. 薄熙来事件効果——投資移民ブームを加速化！（不正蓄財追跡回避！）
- 政府高官・資産家の米国移民ブーム(中国:75%)（アメリカ投資移民政策要注意！）。
 - 100万ドル投資&10人の雇用創出（失業者多発地域50万ドル）⇒永住権授与！
 - カナダ投資移民（80万CAD5年無償借款で永住権）：多すぎて一時打ち切り(7月再開)
 - 投資移民による人民元の海外投資額：2.6兆円強(2011.06.19現在)/年
 - 不動産を含めた全地球規模のチャイナ・マネー・ネットワーク（国防にも影響か？）